

## 【研究概要】

健常高齢者の身体活動量と幸福感やソーシャルキャピタルとの関連性が報告され、心疾患患者においても同様の関連性が考えられる。本研究は維持期心疾患高齢患者を対象として、身体活動量が多い患者は幸福感とソーシャルキャピタルが高いと仮説を立てた。その仮説を検証するために、維持期心疾患高齢患者の身体活動量と幸福感および身体活動量と SC との関連性を多施設共同で明らかにすることを目的とする。